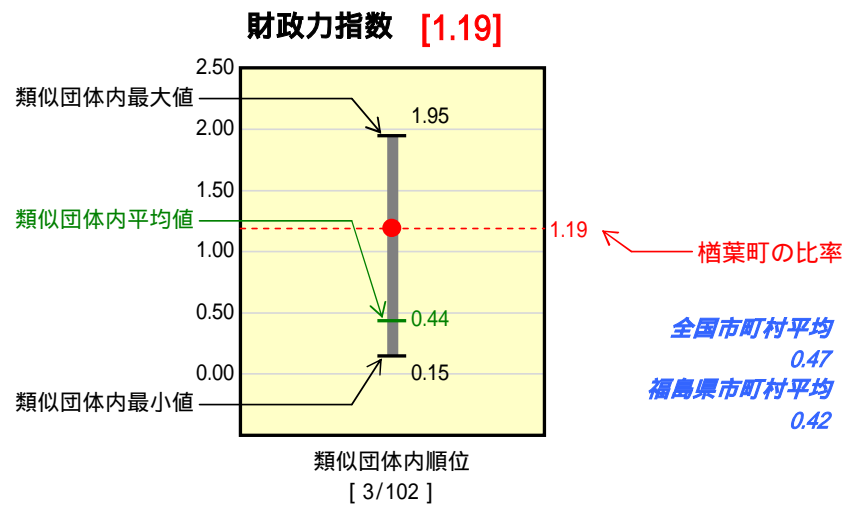


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

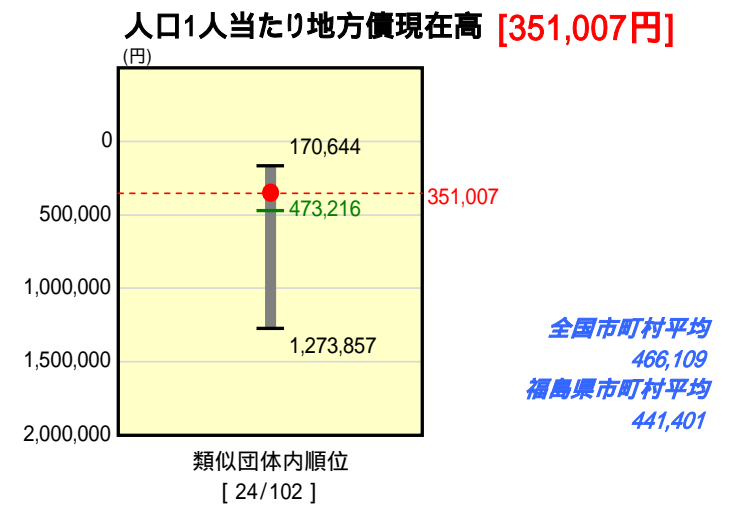
福島県 楢葉町

人口	8,509人(H17.3.31現在)
面積	103.45 km ²
歳入総額	5,130,522 千円
歳出総額	4,894,637 千円
実質収支	204,485 千円

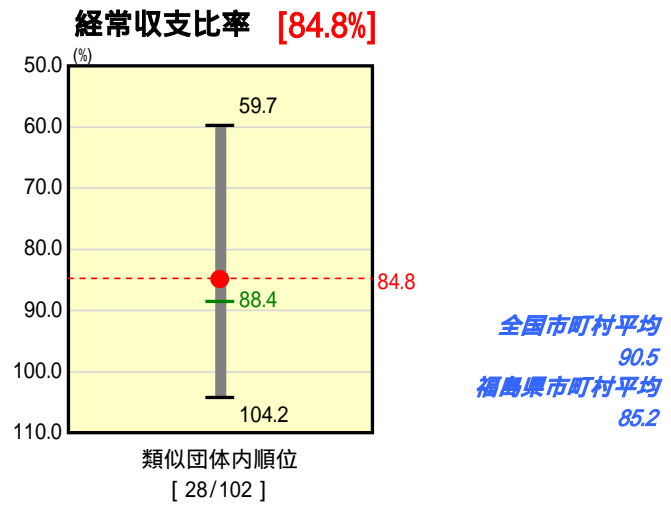
財政力



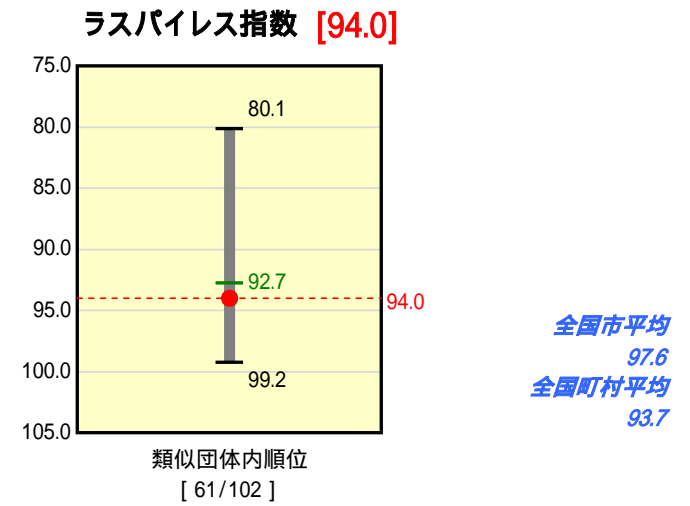
将来負担の健全度



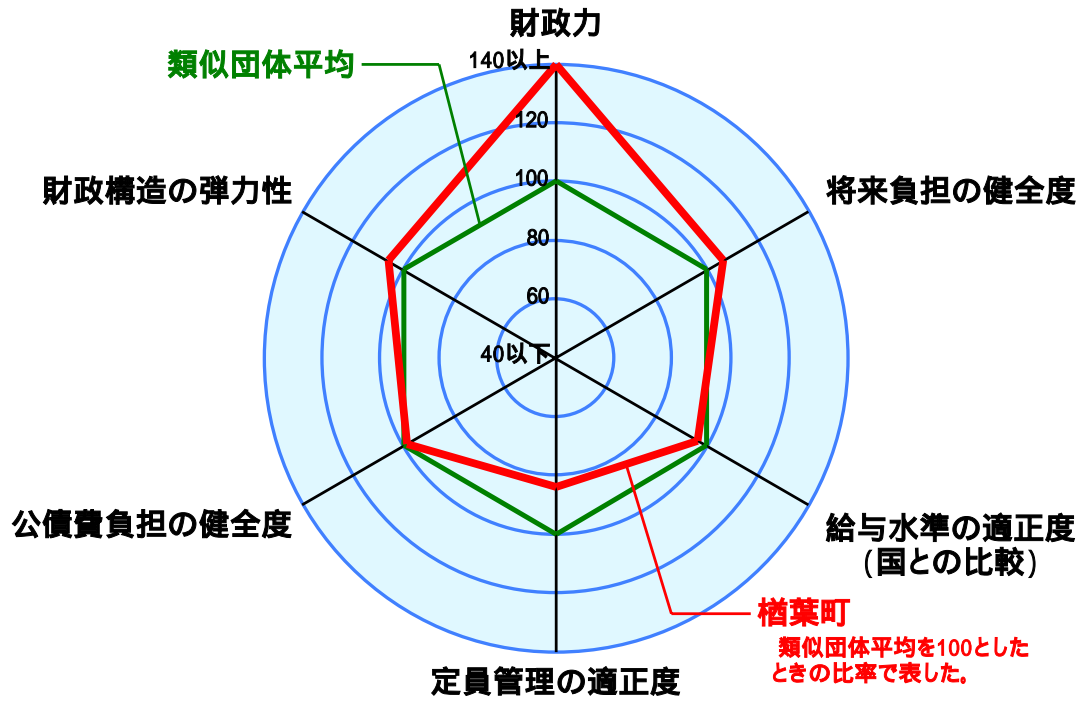
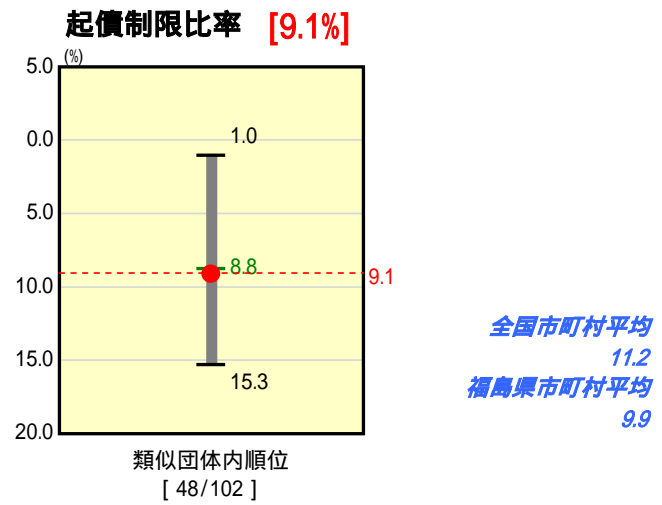
財政構造の弾力性



給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数: 大規模事業所(原子力発電所)の立地により類似団体平均を大きく上回る税収があることから、1.19となっているが、町税のうち大規模償却資産税が毎年減収となっていることや(対前年度比0.4%減)これまでに整備した公共施設等維持管理経費が財政を圧迫している状況にある。今後は、楢葉町集中改革プランに沿った税収の徴収率向上(毎年度95%以上)による歳入の確保と事務事業の見直しによる歳出削減に努める。

経常収支比率: 全国及び県内市町村平均を下回っているものの、比率は対前年度比7.0ポイント上昇している。これは、当年度において、経常経費である公債費において減税補てん償の一括償還があったことが大きな要因であるが(対前年度比38.8%増)、その他、義務的経費である扶助費や施設管理にかかる維持補修費等、一部事務組合に対する補助費等が年々増加傾向にあることも原因のひとつである。今後、行財政改革の計画的な取り組みにより義務的経費の抑制を図り、平成21年度決算時までに80%以下を目標に改善に努める。

起債制限比率: 起債の一括償還により一時的(対前年度比1.6ポイント増)に上昇しているが、現在、起債抑制策として償還額の平準化、更に減少を目的に財政運営を図っていることから、徐々にではあるが、公債費も減少傾向にあります。また、今後予定されている町独自の振興計画に基づく大規模投資事業についても適切な選択を行い、世代間負担の公平化に努める。

人口1000人当たり職員数: 本町特有の地理的条件による公共施設の点在が、類似団体と比較し3.16人上回っている大きな要因であると考えられることから、現在各施設の統合を検討している。(4ヶ所から1ヶ所へ減)。更に、定年退職不補充など定員の見直し(5年間で6人削減)や業務の民間委託の推進等により適正な定員管理を実施し、簡素で効率的な行財政運営を図る。

ラスパイレス指数: 旧来からの給与体系により類似団体平均を1.3、全国町村平均を0.3上回る状況となっている。新たな財源確保は困難な状況にある中、歳出の中でも特に人件費削減は避けては通れない重要な課題であることから、地域給与の導入や特別給の見直しなどを実施し、楢葉町集中改革プラン最終年度(平成21年度)までに類似団体平均の水準である92.7まで低下させる。

人口1人当たり地方債現在高: 類似団体平均を下回っている。今後、大規模投資事業(幼保一元化施設整備事業)も予定されていることから新規地方債発行が見込まれるが、現水準の維持に努める。

定員管理の適正度

